

「新札、チャッカリとウツカリ」

「速達で届いたぬくもり」

文 化

文 化

落語的見聞録

落語的見聞録

このとろろ日本の株価がずいぶん高、一円、円安が進んでいる。経済オンチの私にはその理屈が分からない。アメリカの長期金利がどうとか、日銀が介入したのではとか、物価は上がるのに、給料が上がらないとの声をちまたでよく聞

何もかも物価高で困ったもんだ。秋にははがき、封書の切手代も値上げなさるそう。メルを使う人が多くなり郵便事業も大変なのか。通信の手段がずいぶん変わり、このままでは赤字など、値上げしても数年後には赤字になると、記者会見をリモートでやっておられた。その時点で「アカンやろ」と、思わずツツコミを入れてしまった。手紙やはがきのぬくもり



桂文珍

桂文珍

北里三郎のお三方が一方円5千円、千円札の新し

新札、チャッカリとウツカリ

。仕方がないのでインバウンドの観光客を京都駅で眺めて、外国へ行った気分になつている自分が情けない。そんな不安の進む中、わが国のお札が新しくなつた。渋沢栄一、津田梅子、

北里三郎のお三方が一方円5千円、千円札の新し

。仕方がないのでインバウンドの観光客を京都駅で眺めて、外国へ行った気分になつている自分が情けない。そんな不安の進む中、わが国のお札が新しくなつた。渋沢栄一、津田梅子、

は電子系通信手段(古い言い回し)では伝わらない。先日も、我が家に、学生時代の親友、彼は10年前に突然、黄泉の世界に旅立ったが、そのご家族から速達で手紙が来た。久しぶりだ、何かあったのか、と封を切ると、息

速達で届いたぬくもり

。仕方がないのでインバウンドの観光客を京都駅で眺めて、外国へ行った気分になつている自分が情けない。そんな不安の進む中、わが国のお札が新しくなつた。渋沢栄一、津田梅子、

は電子系通信手段(古い言い回し)では伝わらない。先日も、我が家に、学生時代の親友、彼は10年前に突然、黄泉の世界に旅立ったが、そのご家族から速達で手紙が来た。久しぶりだ、何かあったのか、と封を切ると、息

今更新時の文珍さんの落語的見聞録 6月と7月掲載の2ヶ月分 デジタル社会が進む中でのアナログ。

切り捨てられゆくアナログを「見捨てたらゆかぬよ」との文珍さんのメッセージが見え隠れ???

◎ 6月の「速達で届いたぬくもり」話は落語「絵手紙」に結び付けて。その落ちは「金(鐘)がないのでよう登らん」でも もう後戻りはできぬデジタル社会 歳よりもスマホ・PCでの通信慣れないとそれこそ言え籠りに.....

◎ 7月の「新札、チャッカリとウツカリ」落語は「真田小僧」千円札と一万円札新札が出ましたね。新札を手に入れると見せたくて、新札は町内ひと巡り。町内を一回りした新札の裏にはみんなハンコが押されて戻ってきたと。回覧板にハンコ 懐かしい。私の街は今も町内会はそれだ。落語は信州真田の話。真田幸村の真田の旗印は6文銭 その真田家で こどもに一文銭を六つ並べて 説明を始めた父親 子供は話を聞くふりをして、その6文銭をかつさらって、焼き芋屋へ一目散。「うちの真田(息子・信濃も薩摩(いも)に落ちたか...」と。落語「絵手紙」も「真田小僧」も聞いたことなし。一度聞いてみたいなあ...と。 2024.8.6. From Kobe Mutsu Nakanishi